

西暦 2025 年 4 月 7 日 第 1 版
(臨床研究に関する公開情報)

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 乳癌術後患者の肩関節機能障害に対して理学療法士が関わることの効果

[研究責任者] 医療技術局リハビリテーション室 理学療法士 静間美幸

[研究の背景]

乳癌の手術では、脇の下のリンパ節を切除すると、腕を上げたり回したりする肩関節の動きが悪くなることがあります。これは「肩関節機能障害」と呼ばれる状態です。当院では、手術を受けた患者さんを対象とした「乳腺サロン」という場所があり、看護師が治療や生活全般について相談に乗っています。肩関節の動きが悪い患者さんのサポートも行っていますが、専門知識がない看護師だけでは対応できない場合もあります。そのような場合は、医師に相談してリハビリテーション(リハビリ)の依頼を出してもらいます。しかし、医師に依頼される患者さんは、手術から時間が経っていることが多く、肩関節機能障害の状態なっており、改善するには時間がかかることが多くありました。

[研究の目的]

乳癌の手術を受けた患者さんの、肩関節機能障害を予防し、その後の生活への不安を取り除くために、手術を受けるすべての患者さんに、手術直後から理学療法士(リハビリ専門の技師)がサポートする体制を整えました。この取り組みを始める前と後で、理学療法士のサポートの必要性や効果について検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

乳癌の患者さんで、西暦 2021 年 4 月 1 日から西暦 2024 年 3 月 31 日の間に乳腺外科で手術を受けた方

●研究期間：西暦 2025 年 4 月 16 日から西暦 2025 年 7 月 31 日

●以下のカルテ情報を収集し、データ解析を行います。

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、病理検査結果、肩関節可動域、術式

●検体や情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は第27回日本医療マネジメント学会で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者 静間美幸 が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

医療技術局 リハビリテーション室

理学療法士 静間美幸

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913